



2014年9月10日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 船橋 泰  
(電話番号 078-306-0590)

泌尿器がんマーカーによる癌診断に関する独占ライセンス契約締結（中国）に関するお知らせ

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長：福永健司、熊本県熊本市)と遼寧 MEDI Biotechnology CO LTD (以下、遼寧 MEDI 社)(総経理：張劍俠、中華人民共和国遼寧省本溪市)は、2014年9月10日、中国における泌尿器がんマーカーによる癌診断薬開発目的の当社抗体使用に関する独占ライセンス契約を締結しましたので、お知らせいたします。

このたびの独占ライセンス契約は、当社の泌尿器がんマーカーである CD147 の中国体外診断薬市場への展開を目指すものです。当社は、体外診断薬の研究開発・製造販売および臨床研究の事業を展開している遼寧 MEDI 社と共同で、泌尿器がんマーカー抗体を用いた体外診断薬の開発を進め、中国における泌尿器がんマーカーによる癌診断薬の承認に向けて検討を開始します。また、本契約に基づき、当社は、遼寧 MEDI 社に開発に必要な抗体及び測定キットを有償提供するとともに、遼寧 MEDI 社より開発状況に応じたマイルストーンフィーならびに販売金額に応じたロイヤリティーなどの対価を受領することになります。

なお、2010年11月25日にお知らせしました「尿サンプルによる癌診断に関する独占ライセンス契約締結（中国）に関するお知らせ」については、同社におきまして2014年3月より製造販売承認申請に向けて臨床試験が開始されております。今回の、泌尿器がんマーカー癌診断に関する独占ライセンス契約の締結は、尿サンプルによる癌診断の開発が順調に進捗していることを受け、遼寧 MEDI 社の診断薬開発戦略として取り組むものです。

今後、当社は、診断薬メーカーとして急成長を遂げている遼寧 MEDI 社との連携をさらに強化し、同社の中国に於ける診断薬開発を通して、当社有する有用シーズの収益化を推進します。

本独占ライセンス契約の本年度連結業績への影響は軽微であり、業績予想に変更はありません。

◆ご参考 : 遼寧 MEDI Biotechnology CO LTD (<http://www.lnmedi.com/>)

遼寧 MEDI 社は、中国主要バイオ医薬産業集中地域の中で、薬品開発、バイオ製薬、医療器械、化学薬品、漢方薬の分野で優位性を維持している、中国東北部遼寧省(省都；瀋陽、人口；4,383万人)に位置する本溪バイオ医薬ハイテク工業団地<sup>※2</sup>に2009年に設立されました。遼寧 MEDI 社の主な事業内容は、体外診断薬の研究開発・製造販売及び臨床研究をおこなっており、診断薬マーカーパイプラインを多数有し、承認申請も積極的に進めています。同社は、多数の提携病院を有することから、迅速な臨床試験が可能で、診断薬マーカーの早期の製品化が期待されます。

中国における悪性腫瘍(癌)患者の状況は、罹患者数年間312万人(日本：74万人)、死亡者数年間270万人(日本：36万人)と死亡原因の一位であり、早期診断が強く求められています。

(出展「2012年中国腫瘍登録年報」「がんの統計'13」)

: 泌尿器がんマーカー (CD147)

CD147 は、各種の癌細胞に高発現している膜糖タンパク質です。癌細胞は、正常な細胞の外側にある細胞外基質を破壊し、細胞に浸潤、増殖しますが、この細胞外基質を破壊する酵素を、この CD147 が導きます。CD147 は、悪性腫瘍の発達に重要な役割を果たしていると考えられており、近年、この CD147 が膀胱がんや腎臓がんなど泌尿器系のがん患者の尿中から多く検出されることが報告されています。

以上